



学校だより (7)

事務所 947-3111 ・ 授業日 291-1591 ◇<http://www.hjschl.org> ◇e-mail info@hjschl.org

しみじみ思うこと

校長 福原輝幸

時々、自分が子どもの頃に教えを受けた先生、また先生になってから教えた子どもたちのことを思い出します。

子どもは誕生し、一番に自分を生んでくれた人・・・通常は親と出会います。次に、兄弟姉妹・祖父母などの親族や親の友人と出会い、その後「最も影響を与える第三者」である先生と出会います。先生は、子どもにとって「最も影響を与える第三者」として、子どもの人生に登場するのです。

幼稚園・小学校に入って、人間になるための学習を始めます。この時期、子どもの心は不安と様々な思いで揺れ動きます。幼稚園・小学校は、これから長く続く生活の出発点ですから、子どもに親しみと安全で安心を感じさせる所であればなりません。

小学校高学年からの思春期に入る時期は、出会いによる心の触れ合いが本格的に始まる時期です。この時期、深く馴染める子どもがいる一方で、孤独感にさいなまれる子どもも出てきます。子どもはなかなか本心を見せませんし、言いません。しかし、自惚れたり「あなたのためにしてあげている」と正当化さえしなければ、必ず心を開いて行くと思います。

高校時代は、思春期真っ只中で、先生の影響を受け、生き方をも変えてしまう時期です。

このように、それぞれの時期に、子どもは「最も影響を与える第三者」である先生と出会い影響を受け、人間として成長して行くのです。

かわらない港

家を見れば
家庭がわかる
家庭は港
親は嵐から
子どもを守る錨

子どもが安心できるのは
見守っている親の
あたたかいまなざしがあるから
子どもはそんな親の姿から
信じることを学んで行く

安心と思いやりとやさしさの姿
いつまでもいつまでも
変わらない港であってほしい

< 行事のお知らせ >

◎ 修学旅行保護者説明会

5月23日(土) カフェテリアにて

6年生 8時45分～9時15分
行き先：オアフ島

中3年生 9時20分～9時50分
行き先：ハワイ島

※ コース。経費について

◎ 個人面談

5/30、6/6、6/13の3回に分けて行います。

そこでは、担任から話を聞くことも大事ですが、家庭での生活の様子も伝え、これからの子どもの在り方についての時間にしてほしいと思います。

予定の時刻をお守り下さい。